

爬虫・両生類を対象とした、分類、系統、保全の研究：自然史科学

教員名：太田英利

連絡先メールアドレス：ohta[atmark]hitohaku.jp

◎ どのような研究をされていて、どんなことに役立つのか？

爬虫類（ヘビ類、トカゲ類、カメ類）や両生類（カエル類、イモリ・サンショウウオ類）を対象に、外部形態や骨格形態の種内変異や近縁種間での差異を明らかにして、その分類学的、進化学的意義に関する考察を展開します。また個々の種を対象とした生態的特性（例えばどのようなハビタットで何を食べ、何に食べられているのか；いつ頃どんな場所で繁殖し、どのような一生を送るのか；等々）の解明を進めるとともに、外来性爬虫類・両生類（例えば大陸系スッポン、キノボリトカゲ類、ウシガエル、アフリカツメガエルなど）の生態、生活史、在来種への影響などの解明にも取り組みます。



◎ 主な著作・研究業績

- 1) 《メスだけで繁殖する爬虫類の起源、進化、多様性、そして分類》太田英利（2017）「単為生殖の爬虫類」, In: 松井正文 編『単為生殖の爬虫類』, pp 174-187, 裳華房.
- 2) 《レッドリストに掲載されている爬虫類の変遷から見る、爬虫類の多様性保全の課題》太田英利・当山昌直（2017）「爬虫類の保全」, In: 松井正文 編『単為生殖の爬虫類』, pp 100-114, 裳華房.
- 3) 《侵略性の強い外来種アフリカツメガエルが、兵庫県淡路島にあるため池にいた！》川上敬弘・東口信行・亀崎直樹・太田英利（2017）兵庫県淡路市のため池で確認されたアフリカツメガエル（両生綱，無尾目，ピパ科）. 爬虫両棲類学会報 2017(1): 13-17.

◎ 学生に向けて一言

爬虫類・両生類の多様性や分類、現生種が生じてきたプロセスやそれぞれの生きざまに興味のある方、一緒に勉強しませんか？希少種などの存続に影響する、外来種の生態の解明や、防除法の開発に興味のある方も歓迎。